

2020年12月25日

各位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー  
インヴィンシブル投資法人

代表者名 執行役員 福田直樹

(コード番号: 8963)

資産運用会社名

コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長 福田直樹

問合せ先 企画部長 粉生潤

(TEL 03-5411-2731)

## ポートフォリオの運用実績(2020年11月)に関するお知らせ

インヴィンシブル投資法人(以下「本投資法人」といいます。)の当月(2020年11月)のポートフォリオの運用実績につき、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. ポートフォリオ運用実績

2020年12月11日付「主要テナントとの2020年10月～12月末までの賃料等に関する定期建物賃貸借兼管理業務委託契約変更覚書締結に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、本投資法人は主要テナントである株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント及びその関連会社(以下、「MHMグループ」といいます。)との間で、2020年10月1日から同年12月末日までの賃料等につき、MHMグループが運営する73物件に係る各定期建物賃貸借兼管理業務委託契約の変更覚書(以下「本覚書」といいます。)を締結しました。本覚書に基づき、当該3ヵ月間の賃料の支払条件を一部変更して、固定賃料の支払金額と変動賃料の計算方法を変更しております。本覚書の詳細につきましては、上記プレスリリースをご参照ください。

また、MHMグループが運営する73物件について、本日現在、当月分の雇用調整助成金の金額が確定していないため、当月のGOP(注1)が確定していません。そのため、当月のNOI(注2)(注3)についても未定としています。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### 2. ホテル

##### (1) 国内ホテル

国内ホテルポートフォリオ(75物件ベース)(注4)の当月の運用実績は、客室稼働率は前年同月比△32.5ポイント、ADRは同△8.3%、RevPARは同△42.3%となりました。当月のNOI(注3)は上記のとおり未定としています。

RevPARは先月の4,597円から、当月には5,206円へと増加し、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が経済や観光業界に影響し始めた今年3月以降最大となりました。

当月はCOVID-19の世界的な流行拡大に伴う訪日外客数の大幅な減少(日本政府観光局推計値:前年同月比97.7%減)が続いている中、先月に引き続きエリアやタイプによって明暗が分かれる状況が続いています。週末を中心に観光需要の高い地方所在のホテルに加え、外国人の入国制限緩和に伴う自主待機のための留学生や技能実習生等の団体宿泊需要を、MHMグループの営業努力により獲得した首都圏所在のホテルでは、相対的に高稼働が見られました。

一方、感染拡大により、本投資法人がホテルを合計12物件保有する札幌市と大阪市を目的地とする旅

行が11月24日からGoToトラベルキャンペーンの対象外となる等、COVID-19感染拡大第3波への警戒感が高まりはじめ、全体的にこれまでの回復基調がやや鈍化しました。12月は12月28日から2021年1月11日までGoToトラベルキャンペーンが停止される等、第3波への懸念により稼働率は伸び悩んでいます。このような背景を踏まえ、本日現在、2020年12月の国内ホテルポートフォリオ（75物件ベース）（注4）のRevPARは前年同月比△50%程度になることを見込んでいます。

国内ホテルポートフォリオの地域別の実績については、下表のとおりです。

国内ホテル75物件（注4）

地域	客室稼働率（注5）	ADR（円）（注6）	RevPAR（円）（注7）
東京23区	49.7%	5,141	2,556
首都圏（東京23区除く）	77.1%	11,345	8,752
中部	53.1%	10,795	5,727
関西	30.6%	6,837	2,094
九州	64.8%	9,371	6,072
北海道	37.7%	7,181	2,708
その他	76.8%	16,663	12,793
合計	55.3%	9,411	5,206

## （2）海外ホテル

「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」（ウェスティン）及び「サンシャイン・スイーツ・リゾート」（サンシャイン）のケイマン2物件のうち、サンシャインは、オーウェンロバーツ国際空港での入国者受け入れの限定的な再開により、入国者による一時隔離のための宿泊需要を獲得し、10月より営業を再開しており、当月の稼働率は38.9%となりました。しかしながら、ケイマン政府が観光目的の旅行者への入国解禁時期を明らかにしておらず、ウェスティンは、すでに営業再開しているレストラン1店舗を除き、当面の間休館が続く見通しです。

このような状況の中、当月のNOI（注3）及び2020年12月期累計のNOI（注2）は前年同期比で大幅な減少となりました。

## 3. 住居

住居ポートフォリオ（注8）の運用実績については、稼働率は当月末94.9%と前年同月末比△1.3ポイントとなりました。継続的に実施している賃料上昇に向けた取組みにより、当月末の平均賃料坪単価は、前年同月末比+0.2%となりました。また、当月のNOI（注9）は、稼働率の回復が遅れ賃料収入が前年比で減少したことに加え、リーシングにかかるコストも増加したため、前年同月比△3.4%となり、2020年12月期累計のNOI（注2）も、前年同期比△0.3%となりました。

2020年12月期における新規契約賃料は従前賃料比で0.2%、更新契約賃料は従前賃料比で1.2%、それぞれ上昇し、新規契約・更新契約合計の賃料は、従前賃料比で0.8%上昇しました。また、更新契約における賃料上昇契約の割合は、2020年12月期においては37.1%となり、同期間で更新期日を迎えた既存テナントの更新割合は83.8%と引き続き高水準で推移しています。

## 4. 運用実績

### (1) 国内ホテル 75 物件 (注4)

	当月	前年同月	増減	増減率	当期累計	前年同期累計	増減	増減率
客室稼働率 (注5)	55.3%	87.8%	△32.5pt	△37.0%	48.6%	89.2%	△40.6pt	△45.5%
ADR (円) (注6)	9,411	10,268	△857	△8.3%	8,396	10,794	△2,399	△22.2%
RevPAR (円) (注7)	5,206	9,020	△3,814	△42.3%	4,081	9,627	△5,546	△57.6%
売上高 (百万円) (注10)	3,712	6,163	△2,450	△39.8%	14,701	31,208	△16,506	△52.9%

### (2) ケイマン 2 物件

	当月	前年同月	増減	増減率	当期累計	前年同期累計	増減	増減率
客室稼働率 (注5)	10.8%	82.6%	△71.8pt	△87.0%	3.6%	69.7%	△66.1pt	△94.8%
ADR (米ドル) (注6)	175	301	△126	△41.8%	178	268	△90	△33.7%
RevPAR (米ドル) (注7)	19	249	△230	△92.4%	6	187	△180	△96.6%
売上高 (千米ドル)	504	6,466	△5,961	△92.2%	1,506	25,588	△24,081	△94.1%

### (3) 住居 60 物件 (注8)

	当月末	前年同月末	増減	増減率	当期累計	前年同期累計	増減	増減率
稼働率	94.9%	96.2%	△1.3pt	△1.3%	94.7%	96.3%	△1.6pt	△1.7%
平均賃料坪単価 (円)	9,094	9,080	+14	+0.2%	9,126	9,081	+45	+0.5%

## 5. ポートフォリオNOI

	2019年平準化NOI (注11)		NOI (百万円) (注2)(注3)					
	(百万円)	比率	当月	前年同月	増減率	当期累計	前年同期累計	増減率
東京 23 区	5,980	19.4%	-	-	-	-	-	-
首都圏 (東京 23 区除く)	4,094	13.3%	-	-	-	-	-	-
首都圏 (小計)	10,075	32.7%	-	-	-	-	-	-
中部	2,791	9.1%	-	-	-	-	-	-
関西	1,775	5.8%	-	-	-	-	-	-
九州	2,315	7.5%	-	-	-	-	-	-
北海道	3,442	11.2%	-	-	-	-	-	-
その他	2,700	8.8%	-	-	-	-	-	-
国内ホテル (小計)	23,100	75.0%	-	-	-	-	-	-
住居	3,281	10.6%	272	282	△3.4%	1,373	1,378	△0.3%
商業施設	368	1.2%	27	30	△11.4%	149	154	△3.0%
国内資産 (小計)	26,750	86.8%	-	-	-	-	-	-
海外ホテル	4,070	13.2%	△100	252	-	△617	756	-
合計	30,820	100.0%	-	-	-	-	-	-

- (注1) 「GOP」とは、売上高営業粗利益（Gross Operating Profit）をいい、テナントのホテル売上高からホテル営業に係る費用（人件費、水道光熱費、広告費等の諸費用）及びオペレーターへの管理業務委託手数料（ある場合）を控除した額であり、本投資法人が賃料として収受する賃貸事業収入をいいます。以下同じです。
- (注2) 本投資法人が2020年11月末時点で保有する物件のデータに基づいています。但し、国内ホテルに固定賃料9物件は含まれません。固定賃料9物件は、「D29 スーパーホテル新橋・烏森口」、「D33 コンフォートホテル富山駅前」、「D36 スーパーホテル東京・JR立川北口」、「D37 スーパーホテルJR上野入谷口」、「D39 コンフォートホテル黒崎」、「D40 コンフォートホテル前橋」、「D41 コンフォートホテル燕三条」、「D42 コンフォートホテル北見」及び「D48 高松 東急REIホテル」となります。なお、NOIには、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を裏付資産とするキングダム特定目的会社（以下「本TMK」といいます。）の優先出資証券からの想定配当額を含めています。但し、本TMKの事業年度は、毎年4月1日から9月30日まで及び10月1日から翌年3月31日までであり、本投資法人は各事業年度終了後3か月以内に優先出資証券に係る配当金を受領することになっており本TMKから月次で配当を受領するわけではないため、各月に係る想定配当額は、裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の各月の3か月前にあたる月の業績をベースに、当該3か月前の月の本TMK自体の運営管理、借入利息の各種費用の想定額（当該3か月前の月が属する事業年度における本TMKの予算を月次換算した金額）を差し引いて算出した想定配当額に、本投資法人の優先出資証券保有割合に相当する49.0%を乗じて算出した参考値です。なお、海外資産に係る収入は1米ドル=110円で円換算しています。また、NOIは速報値であり、決算確定時に変動する可能性があります。以下同じです。
- (注3) 本投資法人による取得前のNOIについては、当該物件の売主等から受領した情報に基づいています。なお、会計上の取扱いの差異に基づく調整など算出時期によっては把握困難な場合があるため、当該調整に伴い実績値に差異が生じる場合があります。
- (注4) 本投資法人が2020年11月末時点で保有する国内ホテル84物件（本投資法人が保有する特定目的会社の優先出資証券の裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を含みます。）から固定賃料9物件を除いた75物件のデータに基づき記載しています。なお、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」については、NOIについては前記のとおり、優先出資証券に係る配当受領が各事業年度終了後3か月遅れることから、各月の3か月前にあたる月の想定数値に基づいています。その他の各指標との関係では、ホテル業績の季節性等を適切に反映するため、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の当月のデータに基づき記載しています。以下同じです。
- (注5) 「客室稼働率」は、次の計算式により算出しています。  
客室稼働率=対象期間中に稼働した延べ客室数÷対象期間中の総客室数（客室数×日数）
- (注6) 「ADR」とは、平均客室単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の客室収入合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注7) 「RevPAR」とは1日当たり総客室数当たり客室収入（Revenues Per Available Room）をいい、一定期間の客室収入合計を同期間の総客室数（客室数×日数）合計で除して算出され、客室稼働率をADRで乗じた値と同値となります。
- (注8) 本投資法人が2020年11月末時点で保有する住居60物件のデータに基づき記載しています。
- (注9) 住居のNOIは一時的な保険金収入及びそれに対応する費用、信託分割に伴う一時的な信託報酬を除いています。
- (注10) 「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の売上高については、本投資法人の優先出資証券保有割合（49.0%）に抛らず当該ホテルの売上高を用いています。
- (注11) 2020年11月末時点において本投資法人が保有する全ての物件（148物件）について、2019年6月期の期初から保有していたと仮定した2019年通年のNOI想定値に基づき算出しています。シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルに係る特定目的会社優先出資証券にかかる配当収入については、2019年6月期及び2019年12月期に通り寄与した場合の想定値をNOIに含めています。なお、本投資法人による取得前の実績値は、それぞれの売主から提供を受けた実績値を基に算出しています。また、海外資産に係る収入は1米ドル=110円で円換算しています。
- (注12) 客室稼働率、稼働率及び増減率は小数点以下第2位を四捨五入、ADR、RevPAR及び平均賃料坪単価は単位未満を四捨五入、売上高は単位未満を切り捨てて記載しています。
- (注13) 累計の稼働率は、対象期間における各月末時点の賃貸面積合計を賃貸可能面積合計で除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して記載しており、累計の平均賃料坪単価は、対象期間における各月の賃料収入（共益費収入を含みます。）合計を各月末時点の賃貸面積合計（坪）で除して算出しています。
- (注14) 各ホテルの個別の運用実績につきましては、以下をご参照ください。  
<https://www.invincible-inv.co.jp/portfolio/hotel.html>

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.invincible-inv.co.jp/>

(別紙1)

<ホテルの営業休止状況>

物件番号	物件名	所在地	休館開始日	休館終了日 (注1)	休館時の営業集約先
D200	ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ	ケイマン諸島	3月22日	(未定)	-
D3	ホテルマイステイズ 京都四条	京都府京都市	5月1日	6月30日	
D44	ホテルエピナール那須	栃木県那須郡	4月28日	5月31日	
D48	高松東急 REI ホテル	香川県高松市	4月25日	5月31日	
D53	ホテルマイステイズ 札幌駅北口	北海道札幌市	3月18日	7月17日	ホテルマイステイズ 札幌アспен
D65	アートホテル石垣島	沖縄県石垣市	4月20日	5月31日	-
D66	ホテルマイステイズ 富士山 展望温泉	山梨県 富士吉田市	5月1日	6月11日	
D68	ホテルマイステイズ 金沢キャッスル	石川県金沢市	4月13日	6月30日	ホテルマイステイズ プレミア金沢
D71	ホテルノルド小樽	北海道小樽市	3月18日	6月30日	ホテルソニア小樽
D75	ホテルマイステイズ 札幌すすきの	北海道札幌市	3月18日	7月17日	ホテルマイステイズ プレミア札幌パーク
			12月1日	12月15日	
D76	ホテルマイステイズ 札幌中島公園	北海道札幌市	3月18日	7月17日	
D77	ホテルマイステイズ 札幌中島公園別館	北海道札幌市	3月6日	7月17日	
			12月1日	2021年 1月11日	
D79	MyCUBE by MYSTAYS 浅草蔵前	東京都台東区	3月8日	10月31日	-
D201	サンシャイン・スイーツ・リゾート	ケイマン諸島	3月22日	9月30日	
-	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル	千葉県浦安市	4月28日	6月29日	

(注1) 本日現在の予定であり、今後の状況により変更される可能性があります。

(注2) 上記の他、アパホテル横浜関内は COVID-19 軽症者向けの宿泊療養施設として8月4日から利用されています(2021年3月までを予定)